

# 巻頭 特集

## プロが教える ぜったいに失敗しない介護施設選び

### 第3回 下調べ&施設見学での情報収集がカギ!

老後の住まいは誰にとっても大問題です。ですが、いざ施設選びとなると、いったい、どこから手をつけていいのか途方に迷ってしまおう……。経験豊かなベテラン相談員が、皆さんの疑問や不安をスッキリ解決します!

#### PROFILE



**樋口 国陽**  
ひぐち くにきよ

(株)シニアサポート代表

有料老人ホーム紹介センター「ホームあしすと入居相談室」を開設。長年にわたり数多くの相談者に最適な介護施設を紹介してきた、施設選びのエキスパート。



2010年、杉並区にて行われた講演会の様子

前回は、費用の側面から施設選びの第一歩について説明しました。今号では、次の段階として、候補に挙げた施設を比較検討する方法を紹介します。

施設探しの大まかな流れは右の通りです。最初に、必要な医療・介護ケア、生活スタイルなど各自の希望をはっきりとさせて、探す施設の条件を整理しましょう。介護施設の情報を集めるには、施設の公式ホームページ、またはパンフレットを参考にするとよいでしょう。集めた情報を比べてみて、自身の希望に沿う施設を絞り込んでいきます。予算と費用の収支計算をした上で、その中からさらにいくつかの候補施設を選び、実際に見学して確かめます。

#### 施設探しの流れ

希望・条件を整理する



資料集め  
(ホームページ、パンフレット)



資料を比較、検討  
(費用、立地、サービス、設備)



実際に現地を見学



決定

# 後悔しないために重点チェック

## ■ 事前の重要チェックポイントはココ!

取り寄せたパンフレットや、ホームページに掲載された情報から、費用以外で重要な項目を比較してみましょう。

いちばん大切なのは、**アクセス・立地条件**です。「最寄り駅から徒歩何分か」「電車やバスの運行頻度はどれくらいか」「周辺地域の利便性はどうか」をしっかり下調べしましょう。施設の立地に関しては、一概に良し悪しを判断することはできません。慣れ親しんだ生活エリアから離れたくない、家族が面会に訪れやすい圏内がいい、現在通院している病院に継続して通いたいなど、一人ひとりにとってベストの立地は異なります。入居者ご本人とご家族の関係性を考えた上で、エリアと立地を検討する必要があります。

また、施設が将来にわたってきちんと運営され

るかどうかを判断するために、**施設の事業主体**についても知っておきましょう。長年生活していくわけですから、途中で会社がなくなってしまったりは元も子もありません。「開業してどれくらい経つか」「いくつの施設を運営しているか」といった基本的な情報は必ず調べておきましょう。かつてない経済不況下の昨今、どんな大企業が母体になっていても、ぜったいに安全だと言い切ることはできませんが、一般的には経営規模が大きい企業のほうがリスクが低くて安心感が得られるのも事実です。

健康的で安心な生活を送るために、**医療連携**も大切です。ほとんどの施設は地域の医療機関と提携していて、顧問の医師が定期的に施設へ往診に来てくれます。「往診の頻度はどれくらいか」「診

療科目は何か」「それ以外の診療科目における医療体制はどうか」。特に、内科や外科といった基本的な診療科目以外の、歯科、眼科、耳鼻咽喉科などのサポート体制も調べておきましょう。ちなみに多くの場合、協力医療機関への通院は月々の費用の中でまかなわれます。協力医療機関以外への通院は別途費用がかかるとお考えください。

施設で受けられる**介護サービス**の詳細、また**居室や共有スペースの設備**についても知っておきましょう。たとえ現状で健康状態に不安がなくても、将来的な体力の低下や健康面の不安が出てきた場合に、どんなサービスが受けられるのかが大切なポイントです。設備も各施設によって大きく異なります。居室が広くて設備が充実した施設の場合、それだけ入居一時金や管理費が高額になる傾向にあります。設備の豪華さだけに気をとられないことも大切です。

このほかの要素として、**クーリングオフ制度の有無**があります。これは、入居後90日以内に退去する場合、理由にかかわらず入居金が全額返還されるという保障制度です。万一、クーリングオフが利用できない施設があったら、その施設はやめておいたほうが無難でしょう。

これらの施設やサービスに関する詳細は、**重要事項説明書**という資料にも明記されています。これは、介護施設の状況を所定の様式で詳細に説明した書類です。神奈川県や埼玉県など一部自治体のホームページで公開されているほか、各施設のホームページでも閲覧できる場合があります。長大な上に非常に細かく記載されているので、素人にはなかなか分かりづらいものですが、見学時に希望すれば誰でも入手できるものです。覚えておくといいでしょう。



## 見学前にチェックしておくべきこと



## ■ 見学は短期間で複数箇所を

まず覚えておいて欲しいことは、万人にとって百点満点の施設というのは存在しないということ。各人の希望と条件に合わせて、一人ひとりが自分にピッタリの施設を探さなければなりません。ですから見学の際にも、各自が自分にとって大切な条件を重点的にチェックすることが必要です。効率的に施設を比較検討するには、短い期間に2カ所以上の施設を見学することをお勧めしま

す。複数見学すれば、必ずいずれかの施設のほうがより良い、というように評価の基準になるためです。

見学の心構えとして、今現在の状況だけでなく、将来的な状況を想定しながら見学してください。案内されるがままに見て回るのではなく、5年後のご入居者様の姿を想像しながら、入居した際にどのようなサービスが受けられるかを考えましょう。



## ■ 迷って当たり前、第一印象も大切に

居室内を見学する際には、日当たりや部屋の向きよりも、むしろ**生活する上での動線**を重要視すべきです。食事の際に食堂まで移動しやすいか、ヘルパーステーションまでの距離が近いか（ヘルパーさんがすぐに来てくれるか）などを考慮しながら内覧すること。

また、**他のご入居者の様子**を観察してみましよう。ご入居者の表情が穏やかで、髪型や身だしなみがきちんとしている施設は、総じて質の高い介護を提供している場合が多いからです。ご入居者へ気軽にあいさつをしてみてもよいでしょう。その反応から、施設での生活の満足度や心のゆとりがある程度判断できるはず。こうした点は、パンフレットなどの資料からは判断できない貴重な情報です。

相談員としての経験上、第一印象はかなり重要だと思えます。施設に足を踏み入れたときに、なんとなく明るい印象を受けた、温かな雰囲気を感じたなど、案外第一印象は当たっている場合が多いのではないのでしょうか。

何件かの施設を見学すると、それぞれの長短が見えてくるはず。それだけに、いろいろと目移りして迷ってしまうかもしれません。人生の一大事なものですから、当然のことと思えます。施設選びで悩んだときの指針として、あらかじめ自身が望む複数の条件に「医療サービス＞立地条件」というような序列を作っておくといいかも。より重視したい条件に合致する施設を選べば、きっと満足のいく結果となることでしょう。

私ども「ホームあしすと入居相談室」では、**ご相談者様のご希望の条件に合う介護施設の選定、資料請求、施設見学の予約、見学付き添い、入居ご契約の手続きなど、皆さまの介護施設さがしを無料にてサポートさせていただきます。ぜひお気軽にご相談ください。**

### 見学前にチェックしておくべきこと

- 居室および建物周囲の環境(日当たり、閑静さ、緑地があるかどうか)
- 介護スタッフの勤務態度(入居者とどう接しているか)
- 共有スペースの状況(清潔で整頓しているかどうか)

#### ※見学の際、質問しておきたいこと

- 介護スタッフの勤務体制(昼間・夜間の人数)
- 看護師の勤務体制(昼間・夜間の人数)
- 医師往診について(夜間往診は可能か?)
- 食事サービス(味が好みに合うかどうか、メニューが選べるか)